

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 倉敷市立粒江小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒710-0034
岡山県倉敷市粒江2161番地

E-mail ts0056@kurashiki-oky.ed.jp

Website http://www.kurashiki-oky.ed.jp/schooi/tubue-e/

児童生徒数 男子 261名 女子 229名 合計 490名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 「栗山」と粒江小学校

本校の学校林である栗山は、学校の南、種松山の一角にある。47[㍉]の斜面に約120本の栗の木が植えられ、毎年、児童らが栗拾いを楽しむなど、学校のシンボルとして親しまれている。土地は1908（明治41）年9月20日に地元の人から粒江村尋常高等小学校（現 粒江小学校）に寄付されたと記録にある。最初は、自然林で、理科の自然観察などに使われていたようである。戦時中、食べ物が不足した時代にはサツマイモ畑になり、子どもたちを飢えから救ったといわれている。栗山になったのは1955年で、地元青年団が120本の苗を植え、以来、6年生が卒業記念に植樹したり、教職員や保護者が年2回、草刈りをしたりするなど保護に努めてきた。「学校のため、子どもたちのために」という地域の人々の思いが詰まった栗山は、毎年多くの実をつけ、四季折々の佇まいを見せて子どもたちを楽しませてくれている。

古くからの農村地帯であった粒江地区は、11の支部から成り、支部長さんを中心にまとまりのあるコミュニティ活動を行っている。栗山の草刈りでは、地域の人々が、自前の草刈り機を持参して参加し、栗山や学校について語り合うよい機会にもなっている。また、近くに保育園、幼稚園があり、一緒に栗拾いをしたり栗を届けたりして交流を深め、子どもたちは、栗によって心がつながる喜びを体感している。

本校独自の財産である栗山の歴史を知り、多くの人々の協力によって維持・管理されてきたことに感謝し、粒江小や粒江という地域に誇りと愛着をもつことができるよう学校教育に「栗山活動」を位置付けている。また、自然のめぐみをいただくありがたさを栗山の自然を維持していこうという意識の向上へつなげていきたい。

(2) 年間の活動

① 山の下草刈り（1回目） 6月4日（土）

地域の方々やPTA、教職員で栗山の下草を刈った。かなりの傾斜の斜面なので、安全性を考慮して、児童は参加しない。草刈り機を操作するのは力のいる仕事である。竹や雑木などを 鉋で切り払う人や刈った草を運ぶ人など協力して作業を行った。栗山を維持していくために欠かせない作業である。

② 栗山の歴史を聞く 6月

児童朝礼などで、校長から栗山の歴史について話を聞く。栗の花で白く見える栗山を校庭から見上げて、地域の方々など多くの人たちに支えられている栗山であることを知る。併せて幼稚園や保育園との交流の場であることも知らせる。

③ 栗山の下草刈り（2回目） 8月20日（土）

収穫期直前の栗山をきれいに清掃する。下草を刈る班と熊手で雑草をかき集める班に分かれて活動した。子どもたちが安全に拾えるようにスズメバチなどの巣がないかも確認した。

PTA役員の方々が、ペットボトルのお茶を用意くださり、各々で熱中症に気を付けることを確認した。清掃後、参加者全員で学校に集合し、気のついたことなど情報交換した。



④栗拾い

9月20日(火)	4年生栗拾い	84名
9月21日(水)	5年生1組と粒江幼稚園の園児と合同栗拾い	76名
9月23日(金)	5年生2組と鳥の子保育園の園児と合同栗拾い	51名
9月27日(火)	2年生栗拾い	95名
9月29日(木)	1年生栗拾い	102名
10月 3日(月)	3年生栗拾い	76名
10月 7日(金)	6年生栗拾い・片付け	60名

保育園児や幼稚園児は、来年度入学して出会う6年生である現5年生と楽しく栗拾いをした。今年は、イノシシの食害で、栗が少なかったが、イノシシやタヌキも栗を食べるのだという自然の営みを知ることができた。園児たちは、栗のいがが危ないと火箸で取り出してくれたり、転ばないように、しっかりと手をつないでくれたりした5年生にまた会える入学式を楽しみにしている。



⑤栗の苗木を植える

12月8日、5・6年生の運営委員会を中心とした代表児童が栗の苗木を植えた。下級生のためにと30本の苗を植え、ペットボトルに入れて運んだ水を回しかけた。急な斜面で、児童にとっては大変な作業だったが、栗山の自然を維持していくためにと一生懸命取り組んだ。

地域・保護者との連携による学校環境づくりが評価され、岡山県「頑張る学校応援事業」優良実践校に選ばれ、頂いた応援金により、例年になく多くの苗木を植えることができ、子どもたちは張り切って作業をしていた。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()